



平成24年6月29日

各 位

会 社 名 システムズ・デザイン株式会社
代表者名 代表取締役社長 細谷 徳男
(JASDAQ・コード3766)
問合せ先
役職・氏名取締役管理部長 岡本 芳明
電話番号 03-5300-7800

支配株主等に関する事項について

当社のその他の関係会社であるピー・シー・エー株式会社について、支配株主等に関する事項は、下記のとおりになりますので、お知らせいたします。

記

1. 親会社、支配株主（親会社を除く。）又はその他の関係会社の商号等

(平成24年3月31日現在)

名称	属性	議決権所有割合 (%)	発行する株券が上場されている 金融商品取引所等
ピー・シー・エー株式会社	その他の関係 会社	－ (34.2%)	株式会社東京証券取引所 市場第一部

2. 親会社等のうち、上場会社に与える影響が最も大きいと認められる会社の商号又は名称及びその理由

当社は、ピー・シー・エー株式会社の関連会社であり、同社は当社の議決権の34.2%を間接所有しております。当社及び親会社等の企業グループは、「コンピュータソフトウェアの開発、製造及び販売」、「コンピュータソフトウェアの保守サービス」、「コンピュータソフトウェアの導入指導」等を行っております。このうち当社は、同社のパッケージソフトの製造・配送及びCTI業務の請負を主に行っており、同社に対する前連結会計年度の売上比率は18.6%となっております。また、当社は上記取引に関連し、CTI業務の費用の一部を同社から仕入れると共に、当社の山梨竜王センター及び山梨事業所は、同社の山梨テクノセンターの土地、建物の一部を賃借しております。

なお、人的関係につきましては、当社の相談役1名、監査役2名が、同社の相談役、監査役を兼任しております。

3. 親会社等の企業グループにおける上場会社の位置付けその他の上場会社と親会社等との関係

ピー・シー・エー株式会社は当社の議決権の34.2%を間接所有しておりますが、事業活動を行う上での承認事項など親会社等からの制約はありません。取引条件については市場価格を参考に相互協議の上適正に決定しており、また、地代家賃については近隣の相場を参考に決定しております。

同社は、当社の売上高で第1位の販売先であり、利益面においても当社グループの財政状態及び経営成績に影響を及ぼす可能性があります。同社との取引は長年の取引で培ったノウハウの蓄積と信頼関係による結果であり、今後においても密接な協力関係を保ちつつ事業展開を継続する方針ではありますが、同社とは事業の棲み分けがなされており、両社の得意分野を活かしながら事業の拡大と経営基盤の強化を図ってまいります。

4. 親会社等からの独立性の確保の状況

当社において親会社等との取引関係は、情報処理サービス事業に属するCTI業務とアッセンブリー事業が中心であり、当社グループの主力事業であるシステム開発事業、情報処理サービス事業のその他業務においては、当社独自の営業を展開しております。今後、これらの事業の進展により、親会社等に対する売上比率も漸次低下していく見込みです。

人的関係においても、兼任取締役の状況は、独自の経営判断を妨げるほどのものではなく、一定の独立性が確保されていると認識しております。

(役員等の兼務状況)

(平成24年6月29日現在)

役職	氏名	親会社等又はそのグループ 企業での役職	就任理由
相談役	川島 正夫	相談役	当社及び親会社等の創業者であり、両社の筆頭株主に該当します。
監査役	下島 正	監査役	今後、コンプライアンスの維持、向上が益々重要であるとの観点から、弁護士の資格を有し法務の専門家として適任であるとの判断から、監査役への就任を要請した。
監査役	深澤 公人	監査役	税理士として高い見識とコーポレートガバナンスに関する知見を有し、会計の専門家として適任であるとの判断から、監査役への就任を要請した。

(注) 1. 当社の取締役5名、監査役3名のうち、親会社等との兼任役員等は当該3名であります。

2. 親会社等からの出向者の受け入れはありません。

5. 支配株主等との取引に関する事項

平成24年6月22日提出の「平成24年3月期 有価証券報告書12頁 4. 事業等のリスク (2) ピー・シー・エー株式会社との関係について」をご参照下さい。

6. 支配株主との取引等を行う際における少数株主の保護の方策の履行状況

当社と支配株主との取引については、一般の取引条件と同様に適切な条件とすることを基本とし、公正かつ適正な取引関係を維持しており、少数株主の利益を阻害することの無いよう対応しております。

以 上